

(4) 教頭部会

会長 岩井 崇通 (西土佐中)
副会長 岩井 圭 (八束小)
森 和也 (東中筋小)
事務局 濱口 格 (具同小)

1. 研究主題 「小中連携をどう進めるか ～子どもたちの学びと育ちの保障をめざして～」

2. 研究経過

実施月日	研究のあらまし	会 場	備考
4/5 (月)	★定期総会及び第1回中央区小・中学校教頭会研修会 「役員選出・組織づくり等」	四万十市 社会福祉センター	全会員
5/10 (月)	☆第2回中央区小・中学校教頭会役員研修会	日産サテリオ 四万十店	全会員
	★第3回中央区小・中学校教頭会研修会 「テーマに係る研究体制、研究方法について」 「2022 幡多地区教頭会研究大会について」		
5/17 (月)	幡多地区小・中学校教頭会研修会 (総会・研修会)	武道館	全会員
5/28 (金)	令和3年度高知県小・中学校教頭会研修会 (総会・研修会)	高知会館	役員のみ
6/22 (火)	☆第3回中央区小・中学校教頭会役員研修会	日産サテリオ 四万十店	全会員
	★第3回中央区小・中学校教頭会研修会 「テーマに係る研究」「グループウェアについて」		
7/27 (火)	☆第4回中央区小・中学校教頭会役員研修会	武道館	全会員
	★第4回中央区小・中学校教頭会研修会 講演「地域活性化の取組」 講師 笠井聖子さん(四万十市観光課観光係・ANA総合研究所)		
8/24 (火)	第2回四万十市校長会・教頭会・主幹教諭会 第5回中央区小・中学校教頭会研修会	四万十市 社会福祉センター	全会員
10/1 (金)	幡多地区小・中学校教頭会研究大会 (中央区大会) ※中止	三原村	全会員
10/22 (金)	第47回高知県小・中学校教頭会研究大会 ※中止	高知会館	代表者
11/17(水)・ 18 (木)	第39回四国教頭会研究大会 ※リモート開催	愛媛県	代表者
12/17 (金)	☆第6回中央区小・中学校教頭会役員研修会	武道館	全会員
	★第6回中央区小・中学校教頭会研修会 「テーマに係る研究」「教育しまんと」原稿の確認		
1/7 (金)	第3回校長会・教頭会・主幹教諭研修会	四万十市社会 福祉センター	全会員
2/1 (火)	☆第7回中央区小・中学校教頭会役員研修会	日産サテリオ 四万十店	全会員
	★第7回中央区小・中学校教頭会研修会 「今年度の総括と来年度の方向性」		

3. 研修活動

(1) 研究テーマに係る研修

今年度も「小中連携をどう進めるか～子どもたちの学びと育ちの保障をめざして～」をテーマとし研究を進めてきた。来年度の県教頭会研究大会の第1課題の提案が小学校の担当となっていることから、研究の視点を確認し研修を進めてきた。

(2) ICTに関する研修会

第3回研修会では、ICTに関する講演を具同小学校総括主任の山崎千春さんを講師に迎え開催した。ICTシステムの中でも、主にグループウェアと校務支援システムに関する内容だった。本年度より導入されているグループウェアを使用できるようになるための説明が主であった。これからは電子決済が進んでいくことになるという話題も出され、今まで紙媒体で行っていたことがペーパーレス管理になっていくことも教えていただいた。また、校務支援システムは昨年度より導入している学校もあるため、参加者の興味関心は「通知票・指導要録」に関するものが多かった。作成方法等、直接教頭が行う業務が多くあるため、今後、互いに情報交換を行うことを確認した。

(3) 四万十市観光課・笠井聖子さん（ANA総合研究所）による講話

地域活性化、若年育成の取組についてお話ししていただいた。地域活性化の取組は、四万十市の観光施策や学校との連携事業で出前授業も実施しているという内容だった。

若年育成に関してはANAで実際に行っているポイントを教えていただいた。

- ポイント①
- ・自分がやって見せ、次に若手にやらせてみる。
 - ・気づいたことは客観的に伝える。
 - ・気持ちに焦点を当てる。等

- ポイント②
- ・コミュニケーションを取り、不明点を残さず会話する。
 - ・誤解なくメッセージが伝わるように努力する。
 - ・明確に簡潔に伝える。

- ポイント③
- ・相手の気づきに頼らない。
 - ・気づいてほしいことは、言葉にして伝える。
 - ・感謝の気持ちを伝える。

ANAでは、若年育成で「ほめる、認める」ことを大切にしているようだ。言語化して気持ちを伝えることで、風通しの良い職場づくりもできていくそうである。

(4) 校長会との合同研修会

本年度の教育委員会主催の校長、教頭、主幹教諭合同研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2回目の研修会はリモートで開催された。研修会では、まず久保教育長から管理職に望む学校経営、授業について、人材育成についての話があった。次に人権教育・児童生徒課より、いじめ・不登校対策について基本的な講話があり、その後、中村中学校、東山小学校の実践発表があった。個に応じた指導を組織的に行うことや、一人ひとりの心に寄り添った取組が非常に参考になった。

4. 今年度の成果（○）と課題（●）

- 研修内容を工夫して実施できたことが良かった。（笠井さんの講話、グループウェアの研修等）
- 校務支援システムの研修では多くの質問が出され、関心度の高い研修となった。このシステムは、教頭が担う業務が多いため、今後も引き続き研修を深めていく必要がある。
- 研修会開催時間を午後4時からにしたことで、協議する時間が短くなった。
- 研究主題である「小中連携について」を深める協議の場が少なく、来年度の研究大会提案に向け、研修会の内容について再考する必要がある。

5. 来年度に向けて

- ・郡、県教頭会での実践発表に向けて、中央区教頭会として統一した取り組みを計画的に行い、実践発表が各現場に還元できるようにする。